

上条集落



■上条集落の概説

上条集落は、重川の氾濫原がやや緩やかになる小田原橋から、1キロメートルほど北上した場所にあります。金剛山と呼ばれる舌状台地が南北方向にはしり、台地北端の付根部分に所在する集会場を兼ねた観音堂を馬蹄形に囲むように雛壇状の集落が形成されています。

この金剛山には、観音堂、金井加里神社、真言宗福蔵院があり、宗教施設が集中しています。特異な地形そのものが信仰の対象になっていたようにも思われます。

上条集落の成立については定かではありません。近くの上萩原には16世紀に経営されていた黒川金山(国史跡)で金の採掘に当たっていた金山衆の一人・中村弾左衛門尉が居を構えており、伝承では中村弾左衛門尉に結び付けて集落の始まりを説いています。

山梨県の甲府盆地東部に広く分布する茅葺切妻造主屋は、甲州市でもまだ相当数が残されていますが、上条集落のように一つの集落内でまとまって保存されている例は稀です。茅葺切妻造主屋の大きな特徴である「突き上げ屋根」は「煙出し」「明かり取り」とも呼ばれ、明治時代になってから養蚕の振興に伴い付加されたものです。また、増産を図るため養蚕に特化した別棟の蚕室を設け、昭和時代の中頃までに建てられた棧瓦葺越屋根つきの主屋とともに、養蚕が盛んだったころの集落の状況が良く残されています。

養蚕に代わって果樹栽培が盛んになり、桑畑や棚田にはそのままスモモやモモ、ブドウが植えられました。春には満開のスモモの花に埋まれるように伝統的な建築物がみえます。

養蚕が廃れた後も、比較的にコンパクトな集落内に伝統的な主屋や蚕室が数多く残され、往時の風景が想像できることは貴重なことです。

お願い
 ～見学マナーを守って楽しい散策を～
 保存地区では、住民のみなさまが日々の生活をされています。マナーを守って散策をお楽しみください。

- ①敷地内・耕作地などの私有地に無断で立ち入ることはご遠慮ください。
- ②道路は農耕車優先です。道路を歩行される際はご配慮をお願いします。
- ③路上駐車はご遠慮ください。
- ④ゴミはお持ち帰りください。

重要伝統的建造物群保存地区

甲州市 塩山下小田原上条

伝統的建造物群保存地区とは、歴史的建造物を単体ではなく空間として保存するための制度で、市町村が決定した保存地区の中から、国が特に価値の高いものを重要伝統的建造物群保存地区として選定します。



国道411号を「奥多摩」「丹波山」方面へ。小田原橋付近で上条集落案内看板に従い左折、上条集落内へ。駐車は福蔵院駐車場か、平日であれば甲州民家情報館駐車場が使用できます。

昭和21年頃の上条集落



現在の集落



めくって
タイムスリップ

昭和21年頃

甲州市教育委員会 文化財課
 〒404-8501 山梨県甲州市塩山上於曾 1085-1
 TEL:0553-32-5076 FAX:0553-32-5172
 bunkazai@city.koshu.lg.jp